

薬連ハイライト

平成30年度臨時評議員会開催される

平成30年10月3日、東京四谷にて平成30年度臨時評議員会が開催された。まず山本会長の挨拶で始まり、続いて薬剤師国会議員である松本衆議院議員、藤井参議院議員、とかしき衆議院議員より国政報告を兼ねた挨拶があった。

次に、議案第1号 議長・副議長選出の件では、議長は金安評議員(北海道)、副議長は明石評議員(静岡県)が全会一致で承認された。その後、重要事項の経過報告がなされたのち、報告第1号 平成29年度会務並びに事業報告、議案第2号 平成29年度収入支出決算報告及び監査報告が行われた。そして休憩の後、質疑応答・採決が行われ、すべての報告・議案が賛成多数で承認された。採決の後、紀律委員会の報告が行われた。

続いて協議に移り、最後に本田あきこ副会長による閉会の挨拶で終了した。

その後、本田あきこ中央後援会による「本田あきこ激励会」が行われ、支援団体を代表して製薬産業政治連盟の宮島幹事、健康保険政治連盟の佐野副会長より激励の言葉が送られた。また、日本薬政連の鹿目会長よりメッセージが届けられ披露された。また、本田あきこ中央後援会副会長である日本病院薬剤師連盟木平会長、同じく日本女性薬剤師連盟近藤会長も駆けつけ、引続きの支援を約束し、一丸となって応援することを誓い合って散会となった。



第4次安倍改造内閣発足

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

今年のノーベル生理学・医学賞に京都大学特別教授の本庶佑先生の受賞が決まりました。本庶先生の発見を基に開発された、抗がん剤「オプジーボ」に対しては、全世界から賞賛の声が上がっています。

さて、安倍首相は9月末の自民党総裁選挙において再選され、10月2日に党の役員人事と内閣改造を行いました。

自民党の三役は、二階幹事長と岸田政調会長が留任し、総務会長には前厚生労働大臣の加藤勝信氏が就任しました。また、選挙対策委員長には甘利明氏が就任し、高村副総裁は退任となりました。

安倍首相は組閣について、「しっかりした土台を整えた上で適材適所に人材を登用する」と、記者からの質問に答えていたとおり、麻生副総理兼財務大臣と菅官房長官を留任させたのに加え、外交・通商課題に対する政府の継続性を確保する観点から、河野外務大臣、世耕経済産業大臣及び茂木経済再生担当大臣も留任することとなりました。一方、19人の閣僚のうち安倍内閣では過去最多の12人が初入閣となる、斬新な顔ぶれの第4次安倍改造内閣が船出しました。

安倍首相は、改造内閣発足後の初の記者会見に臨み、冒頭、近年の急激な気象変化に伴い、多発する甚大な被害に対応し、防災・減災、国土強靱化のための緊急対策を3年間で集中して講じていくと述べました。

また、我が国が直面する最大の課題は、国難とも呼ぶべき少子高齢化であるとし、全ての世代が安心できる社会保障制度へと、3年かけて改革を進めていくことを表明しました。このため、新たに全世代型社会保障改革担当大臣を設け、茂木大臣を任命し、根本厚生労働大臣や関係閣僚が一丸となって、この大改革を実行していくとしています。

そして、この内閣は、それぞれのポジションで腕を磨いてきた実務型の人材を結集した、明日の時代を切り開くための全員野球内閣と評し、新しい国づくりを力強く進めていくことを強調しました。

来年は参議院議員選挙です。新内閣には存分に力を発揮し、大いなる成果を上げてもらいたいと思います。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会(下記アドレス)までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfujii.jp

